

別府市公会堂管理運営に関する サウンディング調査の対話結果の公表

1. サウンディング調査実施の経緯

別府市公会堂は、別府市制施行(大正13年4月1日)を記念して、当時建築界の若手の逸材といわれ、後に東京中央郵便局や大阪中央郵便局などのモダニズム建築の傑作を残した通信省の吉田鉄郎に設計を依頼し、昭和3年に竣工しました。

昭和42年、建物のシンボルであった正面階段を撤去しましたが、平成28年、耐震補強・バリアフリー化とともに正面階段やスクラッチタイル、照明などの復原を行い、鉄筋コンクリート造3階建ての正面階段と5連のアーチを有する重厚感あふれるデザインに戻し、昭和初期の空間が再現されました。

市指定の有形文化財である別府市公会堂の復原後は、設計者である吉田鉄郎の設計した星のモチーフを使用したステンドグラスや照明の見学に多くの市民や観光客が訪れ、雑誌やメディアにもたびたび取り上げられるなど、後世に引き継ぐ近代化遺産として親しまれています。

別府市公会堂の今後更なる管理運営に関するサービスの向上や施設価値の向上、地域に密着したサービスの一層の充実に向けて、民間事業者等との対話を通し、民間事業者の持つ優れたアイデアやノウハウを把握し、今後の検討にいかすためサウンディング調査を実施しました。

なお、個別対話でいただいた具体的な提案内容については、知的財産権保護の観点から公表を差し控えます。

2. 調査対象施設

別府市公会堂(別府市中央公民館・別府市市民会館)

別府市上田の湯町 6 番37号

3. サウンディング調査のスケジュール

サウンディング調査実施の公表	令和8年1月30日(金)
対話の実施	令和8年2月17日(火)

4. サウンディング調査の参加者

(1)対話参加者

実施期間 令和8年2月17日(火)

参加者 1事業者

5. 対話結果の概要

民間事業者から提案された主な概要は次のとおりです。

事業への参画の可能性について

・別府市公会堂において、提案事業者の地域に密着したサービス機能とあわせて施設の管理運営を行うことでの事業参画が可能との意見がありました。

施設活用の可能性について

- ・提案事業者が持つ強みをいかした自社サービスとの相乗効果による地域に密着したサービスの提供の可能性が高い。
- ・別府市公会堂は誇るべき文化財であり、施設の見学を目的とする来館者が多いことから観光資源としての可能性が高い。
- ・施設を活用した地元事業者の特産品の販売・PR の実施、市民の健康増進に関するイベント・講座開催による利用率の向上の可能性は高い。

管理運営に関するサービスの向上について

- ・高品質な接客サービスの提供の提案
- ・地域に密着したサービスの提供の提案
- ・ユニバーサルサービスの提供の提案
- ・講座・イベント情報の積極的な周知、PR の実施の提案

施設価値の向上について

・文化財である別府市公会堂の価値向上のため、観光客に向けての魅力発信に関する周知PR の方法についての提案をいただきました。

その他

- ・他の機関との連携についての提案

6. 対話結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング調査では、地域に密着した市民サービスや利用者への高品質な接客サービスの提供、施設の管理運営のノウハウに関する提案をいただきました。

今後、市といたしましては対話の結果を参考に、別府市公会堂のサービスの向上や施設価値の向上、地域に密着したサービスの一層の充実に向けて、本市内部での協議・検討を行い、別府市公会堂の管理運営の可能性について引き続き検討してまいります。